

(共同リリース)

2019年4月8日
日本航空株式会社
株式会社コミュニケーション・プランニング

日本初、航空機の牽引訓練に VR シミュレータを導入 **～持ち運び可能な VR シミュレータを使い効果的な人材育成を実現します～**

JAL グループの国内主要空港のグランドハンドリング業務(航空機の牽引や手荷物・貨物搭降載作業など)を担う株式会社 JAL グランドサービス(本社:東京都大田区、代表取締役社長:花田 正樹、以下「JGS」)と、xR ソリューション^(*)を提供する株式会社コミュニケーション・プランニング(本社:東京都港区、代表取締役社長:田嶋 範夫、以下「CP」)は、このたび、持ち運び可能な VR(仮想現実)技術を用いた訓練用シミュレータを4月8日より航空機の牽引訓練に導入します。

(*) VR(仮想現実)、AR(拡張現実)、MR(複合現実)などの技術の総称。



航空機の牽引訓練は、時間、場所、使用機材などの制約があり、通常長期間の訓練が必要です。一方で、旅客需要の拡大により航空機牽引の取り扱い便数は増えており、必要な技術を持った人材の育成が課題となっています。こうした状況を受けて、JGS と CP は時間や場所に左右されずに訓練教育を行える航空機の牽引訓練用の VR シミュレータを共同開発しました。

このたび共同開発した VR シミュレータは、持ち運びが可能であるため、これまで訓練が実施できなかった地方空港などでの訓練も実施可能となります。また、通常の訓練では再現が困難な雨や雪などの気象条件の設定を行うことができることに加えて、教官の指導を受けながら、繰り返し訓練ができ、効果的かつ効率的な訓練を実現します。さらに、VR の特徴である 360 度全方位の視野が再現されるため、平面モニターでは実施できない、「振り向く、覗き込む」といった航空機牽引時の安全確保に必要な動作の確認にも対応しています。

実際に体験した訓練教官からの評価も高く、今後は更なる訓練プログラムの開発や、イレギュラーに備えた緊急時の操作訓練などの安全教育プログラムの開発も検討します。



教官による指導の様子

これからも JGS と CP は、空港グランドハンドリング業務のさらなる安全品質向上と生産性向上を目指し、VR 訓練用シミュレータの開発普及に取り組んでまいります。

参考:会社概要

◆株式会社 JAL グランドサービス(<http://www.jgsgroup.co.jp/>)

JAL の 100%子会社であり、航空輸送のグランドハンドリング業界の草分けとして、東京(羽田、成田)・大阪(伊丹)・札幌(新千歳)・福岡の各空港において、JAL をはじめとする世界の主要航空会社の地上サービス(手荷物・貨物取扱/機内・機体外部クリーニング/航空機誘導)を担う。

◆株式会社コミュニケーション・プランニング(<https://www.cpnet.co.jp/>)

産業分野における VR/AR システムの企画、開発、運用サポートをワンストップで提供。独自開発の xR フレームワーク「MIXER」を中心に、設計/デザイン、トレーニング、プロモーションの 3 つの領域にフォーカスしてソリューションを展開。1978 年創業。